

2016年3月

**「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016」  
「投資信託・総合部門」「確定拠出年金・ミックスアセット部門」で『最優秀運用会社』  
2部門で『最優秀ファンド賞』を受賞**

この度、東京海上アセットマネジメント株式会社は、「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016」におきまして、下記のとおり「投資信託・総合部門」および「確定拠出年金・ミックスアセット部門」で『最優秀運用会社』を、2部門で『最優秀ファンド賞』を受賞いたしました。

「投資信託・総合部門 最優秀運用会社」は3年連続の受賞となります。

弊社では、今回の受賞を励みに、より一層お客様第一の高品質を目指してまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

**リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2016**

**最優秀運用会社**

<b>投資信託・総合部門</b>	<b>東京海上アセットマネジメント株式会社 (3年連続受賞)</b>
<b>確定拠出年金・ミックスアセット部門</b>	<b>東京海上アセットマネジメント株式会社</b>

**最優秀ファンド賞**

<b>投資信託 (評価期間:3年)</b>	<b>ミックスアセット 日本円 積極型</b>	<b>東京海上・未来設計ファンド5</b>
<b>確定拠出年金 (評価期間:3年)</b>	<b>ミックスアセット 日本円 安定型</b>	<b>東京海上セレクション・バランス30</b>



#### ＜「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2016」について＞

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2016」は、世界各都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパーリーダーレーティングシステム(リップパーリーダーズ、Lipper Leaders)」の中の「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を用いています。

#### ＜最優秀ファンド評価方法＞

- ・ 評価対象ファンドは、日本国内で販売されているファンドのうち、2015 年末時点で 36 カ月以上の運用実績のあるファンドです。
- ・ リップパー独自のファンド分類を用い、1つの分類に上記該当ファンドが10本以上(確定拠出年金部門は5本以上)存在するすべての分類「その他セクター」分類を除く)を評価対象とします。
- ・ 評価期間は、「3年間」、「5年間」および「10年間」とし、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパーリーダーレーティングシステム(リップパーリーダーズ)」で採用している「コンシスタントリターン(収益一貫性)」と同様の評価を行い、各分類の最優秀ファンドを選定します。

#### ＜運用会社アワード評価方法＞

- ・ 債券部門、株式部門、ミックスアセット部門、総合部門において、最優秀運用会社を選定します。
- ・ 債券部門、株式部門においては5本、ミックスアセット部門においては3本、該当部門のファンドを有する運用会社を評価対象とします。総合部門については、債券部門、株式部門においてそれぞれ5本以上、ミックスアセット部門において3本以上のファンドを有する運用会社を評価対象とします。
- ・ 債券、株式、ミックスアセットの各部門の評価では、評価期間を3年間として、対象運用会社の該当ファンドすべてについて、上記「コンシスタントリターン(収益一貫性)」を基にした評価を行い、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。総合部門も同様の評価方法を用いて、運用会社ごとの該当ファンド平均値にてランキングし、最優秀運用会社を選定します。

リップパー・ファンド・アワードの評価の基となるリップパー・リーダーズのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リップパー・リーダーズが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

### 【投資信託に係るリスクについて】

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等値動きのある証券に投資をします。これら組み入れ資産の価格下落等や外国証券に投資する場合には為替の変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

投資信託は、**預貯金や保険と異なります**。また、**投資元本が保証されているものではなく**、基準価額の下落により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります**。個別の投資信託毎にリスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

### 【投資信託に係る費用について】

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| ● 購入時に直接ご負担いただく費用     | ・・・購入時手数料 <b>上限 3.24% (税込)</b>  |
| ● 換金時に直接ご負担いただく費用     | ・・・信託財産留保額 <b>上限 1.0%</b>   |
| ● 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 | ・・・信託報酬 <b>上限 2.052% (税込)</b>   |
| ● その他の費用・手数料          | ・・・監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用等をファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。監査費用を除くこれらの費用は実際の取引等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 |

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

※ お客さまにご負担いただく手数料等の合計金額については、お客さまの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

### <ご注意>

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、東京海上アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しています。費用の詳細につきましては、個別の投資信託毎の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

投資信託にかかるリスクや費用は、投資信託毎に異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご確認ください。

## 東京海上アセットマネジメント株式会社

<http://www.tokiomarineam.co.jp/>

サービスデスク 0120-712-016 (土日祝日・年末年始を除く 9:00~17:00)

商号等：東京海上アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会